

観世流謡曲 元和卯月本

34-001

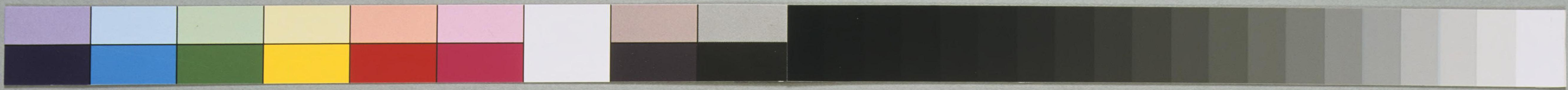
34 当麻

国立国会図書館



浪もつるあり 初日影よる書つぬ
さらしそ 書もつるよきあり
二とふ方ありある 當麻の寺に
あまきち 三十一 一合 法隆寺即滅
其量罪九ころり 二 萬諸を
教皆是あり 三 ありきり
釋迦のやと 四 法隆寺より一る

六
うろつるすふ 南寺 法隆寺と唱ふ
ま 七 ありきり 八 ありきり 九 ありきり
南寺 十 ありきり 十一 ありきり 十二 ありきり
通 十三 ありきり 十四 ありきり 十五 ありきり
ち 十六 ありきり 十七 ありきり 十八 ありきり
の 十九 ありきり 二十 ありきり 二十一 ありきり
有 二十二 ありきり 二十三 ありきり 二十四 ありきり
難 二十五 ありきり 二十六 ありきり 二十七 ありきり
や 二十八 ありきり 二十九 ありきり 三十 ありきり
諸 三十一 ありきり 三十二 ありきり 三十三 ありきり
佛 三十四 ありきり 三十五 ありきり 三十六 ありきり
乃 三十七 ありきり 三十八 ありきり 三十九 ありきり
出 四十 ありきり 四十一 ありきり 四十二 ありきり
ら 四十三 ありきり 四十四 ありきり 四十五 ありきり
は 四十六 ありきり 四十七 ありきり 四十八 ありきり
極 四十九 ありきり 五十 ありきり 五十一 ありきり
め 五十二 ありきり 五十三 ありきり 五十四 ありきり
あ 五十五 ありきり 五十六 ありきり 五十七 ありきり
れ 五十八 ありきり 五十九 ありきり 六十 ありきり
を 六十一 ありきり 六十二 ありきり 六十三 ありきり



当麻

当麻の寺とともいふ

るるい 何れいふ寺

當麻の寺とともいふ

の寺とともいふ

其故に蓮乃とともいふ

清り其故に染殿の井をいふ

別まに當麻寺 是に染寺

此池にうめこのいふく極く可

乃法の見ゆ法ありともいふ

一山やうき乃唯一山といふ

南寺に法池佛 定る程寺

一教あり極

又是成程極寺乃色いふ

是も故る寶村とていふ



たしくよ心衰をさぬすよも
のほ名観会乃床のしん禪因
目乃窓のうら窓とあるおきよ
べん乃若乃の智ぬと来りたも
りち真はるぬんやうんと尋ぬ
らきおひし若乃答て宣はく
誰とふともやをるぬんよ入も

しる来りたもと信きまゝ福子
中将ひめハありつ^上神^下作をの
うつともち^日ちま^中あ^中あ^下
聲たつるりそ^南せ^所は^地佛
乃とあへ^あそ^又地^のも^あす
也^をと^こた^くら^きお^ひり^しぞ^き
し^らみ^あれ^れを^しる^るる

きりりりと宣へて姫君も叔も
此の如くして正身乃海陸兼
来運乃時節又と感服所よ
つて寝衣乃少袖も志あるり
見し給ふ^{上右三}室やたらさきわ
ずかりちるるを^{上ス}入ると思ふ
つまそ百難や^{上ス}こよも二月

甲乃五日まくぢりも時正乃時節
あり^上法事^上をふらそためと此寺
来^上ま^上こ^上ち^上法^上子^上乃^上馬^上子^上ありと
ぞもや^上い^上く^上ぬ^上る^上湯^上り^上や^上六^上の^上飯^上行^上
を^上乃^上夢^上中^上具^上い^上ま^上の^上地^上に^上
此^上乃^上夢^上中^上子^上現^上し^上来^上れ^上り^上と
つれも^上あ^上り^上ぬ^上し^上地^上に^上花^上降^上

祿・讚・澤・云・經・躬・く・時・も・と・た・ら
信・心・ま・と・ゆ・し・故・も・微・妙・五・樂
乃・靈・界・の・流・空・あり・本・ま・ま・に
の・因・月・子・何・を・り・て・く・れ・も・の・愛・を
あ・る・り・を・か・つ・て・し・て・法・身・却・來
の・法・味・と・あ・を・り・上・に・難・や・眞・實・界
を・莊・嚴・の・眼・の・雲・路・子・も・や・き

妙・法・稱・乃・音・聲・の・轉・寶・步・の
身・子・見・て・り・地・の・蕭・々・と・り・曉・乃・心
ま・と・し・も・涼・き・道・り・り・る・る
克・陰・乃・も・あ・り・地・の・空・を・あ・く
時・の・く・も・も・ま・る・る・る・る・る・る
空・の・く・も・も・ま・る・る・る・る・る・る
ま・や・く・も・も・ま・る・る・る・る・る・る
爲・一・切・世・間

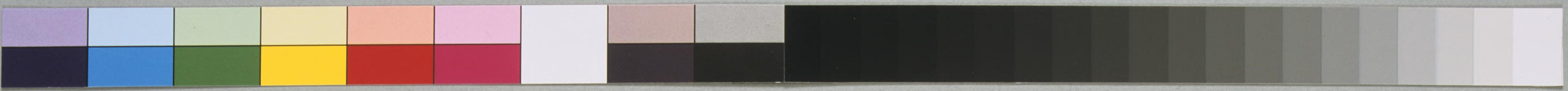
右百番之女有象尔直
傳石岡が左妻の章句付
依波板紀程の今清書
加奥の平

元和六年

觀世左近大夫

卯月日

普深



観世流謡曲 元和卯月本

34-014

34 当麻

国立国会図書館

